

コンビニの経営者になってみよう

～消費者目線で考える～

3年 社会科 公民的分野

I 実践の目指しているもの

現在最も店舗数の多いコンビニエンスストア(以下、コンビニと略)を事例として扱う。2014年時点で、その数は全国で1万7000店にものぼり、1974年に東京に一号店が開店して以来、約40年間ずっと店舗数は増加し続けている。コンビニ業界全体ではおよそ8兆円規模の巨大な産業に発展しつつある。その背景には、公共料金の支払いや宅配便の取り扱い、ATMの設置などをはじめとして、顧客のニーズにこたえようとする新たな事業の拡大や、独自のシステムによる徹底した商品の管理、工場から商品の直送を図る流通経路の簡素化などのイノベーションを進めてきたことなどが挙げられる。このように多機能化したコンビニは、経済活動に関する要素が凝縮されており、「日本経済の縮図」ともいえるだろう。

本章は、経済分野の導入部分に当たる。子どもたちの立場は、コンビニを利用する「消費者」であるが、本単元は「経営者」の視点に立つことで消費者のニーズに応えようとしているコンビニ業界の企業戦略や経営努力に目を向けさせていきたい。そうすることで、ものの見方が多面的になり、追究に厚みが出てくるものと考えられる。この様な経営戦略の例を学ぶことにより、個人と社会のつながりを考え、世の中の経済活動に興味を持たせる授業を行いたい。

II 研究の内容

1 題材名 公民的分野

第4章 「わたしたちの暮らしと経済」

第1節 「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」

2 題材の目標

- ・ 身近な事例や、調査やシミュレーションなどの様々な学習活動を通して、経済に対する関心を高め、「かしこい」消費生活の在り方や消費者としての自立について考えることができる。
- ・ 身近な消費生活の事例をもとにし、暮らしと経済の関係に気付かせるとともに、その背景にある流通の役割について理解している。

3 題材の指導計画(4時間扱い)・単元構成など

1時間目 コンビニエンスストアの経営者になってみよう(本時)

2時間目 わたしたちの消費生活

3時間目 消費者の権利

4時間目 消費生活を支える流通

4 本時について

本時の目標

- ・ シミュレーションを通して、学習意欲を高め、経済に興味・関心をもつ。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・ 経営者の視点から消費者の消費行動を考えることで、消費生活を中心に経済活動の意義を理解する。

(社会的な思考・判断・表現)

(2) 本時の展開(1/4)

	○生徒の活動 ●教師のかかわり	留意点
導入 1 0 分	<p>●黒板に、学校周辺の地図を提示する。 ○黒板の地図に自分の知っているコンビニを貼り付ける。 ●問いかけ「コンビニの数は多いと思う?」「こんなに多くてつぶれない?」 ○「駅前に集中している」「かなり密接してコンビニがある」 「つぶれる店もある」「つぶれないための工夫をしているんじゃないか」 ●コンビニの店舗数データを提示(現在の店舗数や増加数、首都圏の実態)。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習課題】 競争に勝つために、どのような工夫をしているのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域からスタートし興味をもたせる。 ・コンビニが増え続けていることを強調する。
展開 3 5 分	<p>●ワークシートを配布し、テレビ画面で漫画を見せる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習活動①】 奈々子の取組は、なぜ60点だったのだろうか。</p> </div> <p>○個人の意見をワークシートに記入する。 (売り切れたあとのことを考えていなかったから、など)</p> <p>●画面に漫画の内容を映し出す。 ●消費者の立場と経営者の立場では、見る視点が違うことに気付かせる。 ●経営者は消費者の視点に立って考えることが必要であることに気付かせる。 「どれが売れたのだろう」という経営者側の目線ではなくて、「どれが一番欲しかったのだろう」という消費者の目線で考えることの重要性を伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【学習活動②】 夏にチョコレート売るためには、どうしたらよいだろうか。</p> </div> <p>○4人グループをつくる(店長1人・バイト3人) ○グループで話し合い、夏にチョコレート売る方法を考える。 (冷やした状態のチョコレートを販売する、○○の日などをつくる、など) ○数グループの店長が企画を発表する。 ●画面に漫画の内容を映し出す。 (コーヒーマシンの隣をチョコレート新商品の試食コーナーにする) ●他の例として、冷やし中華が冬にも売れることを紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの企画が正解ということではないことを強調する。
結論 5 分	<p>●他企業の工夫例も紹介する(航空会社の金額とサービスの違いなど)。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【課題解決した生徒の姿】 世の中の様々な分野で、消費者のことを考えたサービスが生み出されていることを捉えている。今後の授業の中で、消費者・生産者の両方の立場から経済活動を理解するような意識付けがされている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が身近に感じることができる具体例を紹介する。

5 実践のポイント

- ・今回学ばせたいポイントは「経営者視点」から経済活動を考えることである。そのために、「問口の狭い質問」として「経営の工夫」という課題から入ることが重要。
- ・思考の流れ(経営の工夫を知る→他のコンビニでは、どのような工夫をしているのか?→他の業界ではどのような工夫をしているのだろうか?→経済活動とはどういうものなのだろうか?)

